

生活福祉委員会会議録

平成24年3月22日 12時30分 開 会
12時48分 閉 会

網 走 市 議 会

午後0時30分 開会

○空委員長

予特でお疲れのところ御苦労さまです。

ただいまから生活福祉委員会を開催いたします。

本日の議件につきましては、先に御検討いただいております委員会の行政視察の件についてでございます。

先の委員会で皆さん方にいろいろ御意見もちょうだいをいたしましたけれども、その後の部分については正副委員長で案を設けて、皆さんにお示しをして、御了解をいただくと、こういうことで前回の委員会です承いただいておりますので、皆さん方のお手元に御配布のとおり、正副委員長でさまざまな行程を考え、最終的にこういう形がいいんじゃないかということで固めさせていただきましたのでごらんいただきたいと思います。

1カ所目については、岐阜県大垣市、2カ所目が静岡県掛川市、3カ所目が静岡県富士宮市ということです。

内容については、1カ所目の大垣市は子育て支援事業と合わせて24時間型地域巡回型訪問サービス事業の2点を考えております。それから2カ所目はごみの減量化についてということで掛川市を視察させていただきたいと思います。内容はごみ減量大作戦と銘打ちまして、一人1日当たりの削減目標を掲げて5年以内に日本一を実現すると、そのような施策を実施しているということでありまして、それらの取り組みを学んでまいりたいと思います。それから3カ所目については富士宮市ということで地域包括支援センターの取り組みについてということで、介護保険制度の導入に伴って、介護サービスなどの総合的な相談窓口として地域包括支援センターが設置されているところでありまして、当市におきましても2カ所開設されておりますが、高齢化の進展に伴いまして、介護をする家族の心身のケアなど、家族への対応も求められるケースが最近見受けられると、そういう中で支援センターの機能強化を図りまして、高齢者のみならず障がい者や児童などの初期相談をワンストップで受けることができるという取り組み

が行われているということでありまして、そういう観点からも非常に参考になるのではないかと思います。

以上、この3カ所について視察をしたいということで、正副委員長より皆さん方に提案させていただきたいと思いますが、それについて皆さん方の御意見を賜りたいと思います。できればこれで決めていただければありがたいと思います。

○古都委員

以前提案させていただいていた中で、その部分が全くなかった上で、この部分が出てきたのですけれど、こっちになった理由と私たちが提案したものがなくなった理由を教えてくださいたいのですが。

○空委員長

それぞれの意見を包括できれば一番いいのですが、前回も話をしましたようにあくまで3泊4日という行程の中で視察をとる意見でありましたので、そういう中で、例えば考えられる移動行程を含めて検討した結果ということでございますので、その辺については御理解をいただきたいと思います。

そういうことでよろしいですか。

○古都委員

地域包括支援センターの部分については納得できるのですけれど、例えばごみの減量という部分で言えば日本一進んでいるのが富良野市だったと思うのですけれども、例えば釧路空港出発にして、まず釧路市を見た上で行くとか、逆に新千歳空港に戻ってきてから見るとか、そういう行程も考えられると思うのですけれど、その辺も検討した上で無理ということでは…。

○空委員長

それについては前回も言いましたけれど、今回は本州のほう、全国的な部分で、もし必要であれば、道内の部分については可能であれば考えてみたいということで、今回は道内という部分については検討しておりません。

○古都委員

では道外という部分では、もともと出ていたの

が私の中では、渡部委員の静岡県と私が言った鳥取県だったと思うのですが、新幹線とかの移動も考えた中で、鳥取が却下になった理由というのが…。

○空委員長

却下というよりも行程の中でということで、それについては理解してもらえないとどうしようもない。自分の言った部分が入っていないから云々と言われても、少なくとも最終的には正副委員長に一任をいただきたいということで御了解をもらった経過がありますので、それについては御理解いただきたいと思います。

あと皆さん方、御意見。

○立崎委員

この忙しい期間の中、正副委員長で選定されたものということで理解はいたしますので、私はこれでよろしいかと思います。

○松浦委員

日程として、こういう形で近隣、比較的移動がしやすい地域を選んだのだと思いますけれども、それはそれとして、今、この3つの課題というのは当市にとっても非常に重要な課題だから、それはそれで私はいいいと思いますけれども、古都委員がその辺を理解していただけるかどうかだと思いますけれども、私はそういう点であれば、内容としては見る価値はあるものだというふうに思いますので、いいのではないかと思います。

○小澤委員

私も場所よりは視察をする内容が大事だと思いますので、この提案でよろしいかと思います。

○空委員長

それでは大方の皆さんの御理解をいただけるので、古都委員、これが無駄だということではないので、見たいところはたくさんあるのだろうと、それは理解しますけれど、その辺については理解していただきたいと思います。

皆さんが了解してくれたので、一名だけの意見で変更するという形には…。

○古都委員

変更云々ではなくて、この3点の中を見た上で

どこの部分を今後政策的に反映させようと、重点的に、具体的にどこを反映させられると思って選んだのか、その部分がわからない。

○空委員長

それについてはすべてだと思っています。

あとはそれをどう生かしていくかは、それぞれ委員個々の努力の問題だろうというふうに判断します。

○松浦委員

古都委員も具体的に挙げていたという点もありますから、今期についてはこういう形で行くにしても、次の、このメンバーでもう1回…。

(「ない」と呼ぶ者あり)

○空委員長

全員がすべて一致するということはなかなか難しいだろうと、そういう中で正副委員長に検討して案を出してくれということで一任されたと思っていますので、古都委員、これで了解してください。

○古都委員

わかりました。

一つだけ、私は前は総務文教委員会だったのですが、今回異動するに当たって、最終的にレポートの出し方が生活福祉委員会だけ一括して、皆さんの意見を取りまとめたという経過があったと思うのですが、皆さん個々の主張がある中で、それを一概に全部まとめてというよりは、ほかの委員会と合わせた形で個々のレポートが望ましいと思うのですが。その辺はどうなのでしょう。

○空委員長

考え方だと私は思っています。それは個々のレポートをつけて提出するのもいいし、ただ結果として、委員会として、それぞれ同じところを見ても感じ方も違うだろうし、いろいろな角度からの見方という部分で違うと思うので、ただ、行ってきました、私はこう思いましたと、あまりばらばらというのも果たしてどうなのかなという気がするのですが、それらについては行って帰ってきてからの取りまとめの段階でどうするかという議論、

ですからあくまでも個々のレポートを出すのだというくらいの気持ちで準備しておいていただければと思います。

○松浦委員

前回、昨年の秋に視察してきたときは、それぞれ、私はレポートを作って委員会で報告をしたので、それが紙で出るか出ないかの問題はあるかと思いますが、私は基本的にレポートを作って用意してきています。

○空委員長

それをつけて出すか、集約したかという部分ですけれど、それは帰ってきてから取りまとめをやる段階でどうするか、ですからどの段階でも自分の感じ方など意見を集約しておかなければならないと思うので、皆さんがレポートを出すというのであればそれはそれで結構です。ただレポートを出すと委員会としての意見がなかなか集約、こうだというのがまとめられないと、6人が6人、6種6様で、私はこう思いましたと、同じところを見ても意見がばらばらになってしまうという気がします。

○古都委員

であるならば、たしか私の記憶では各委員会の委員長というのはレポートを提出されていなかったのですけれど、ほかの委員のレポートを見た中でそれをまとめ上げて報告するというのが委員長の立場であってもいいのではないかなと思うのですけれど。最終的な皆さんの意見を踏まえて、委員長がそれをまとめたものを提出するというのも…。

○空委員長

それはもちろん委員長名で提出いたしますけれど、皆さんの意見をまとめて委員長名で提出するわけですから、ただ誰々さんがこういうふうに感じましたというようなことを書いていないというだけの話で。

○古都委員

個々に皆さんせっかく作成されているわけですから、それプラス、皆さんこういうところを見ましたよという、今公開になっていますから、

その中で、皆さんを支援してくれている方ももちろん見ると思いますし、その中で、行ったところで何を感じたかということが公になってしかるべきだと私は思うので、皆さんせっかく作っているのですから、それに附随するというのは全然悪いことではないと思うのですけれど。

○空委員長

だからそれぞれのレポートをつけて出すということも一つの方法ですから、それについては先ほどのようなように帰ってきてから取りまとめの段階で、いつでも付けて出せるような準備をそれぞれして帰ってきていただきたい。

それでよろしいですか。

○古都委員

わかりました。

○空委員長

それでは視察地につきましては岐阜県大垣市、静岡県掛川市、静岡県富士宮市の3市に決定させていただきます。

日程についてでありますけれども、5月15日に出発して3泊4日という行程になります。

なお一つだけ、これ相手方あるものですから、まだ最終確認ができていないと、これは皆さんに了解をもらった段階で相手方の市のほうへ問い合わせをしなくてはならないということで、万が一、何らかの都合で受けられないという部分が出たときには、また再度委員会を開いて皆さんと協議したいと思っていますので、それだけ御了承願います。

視察についてはそういうことで、15日から3泊4日ですから18日の帰郷という形になります。そういうことで決定させていただいてよろしいですね。

(「はい」の声あり)

○空委員長

あと時間等については、これから事務局のほうでスケジュール表を作成させていただいて皆さん方にお届けするという形になろうかと思います。

この関係では、実施については今申し上げましたように決定させていただきます。

なお、もしもろもろの皆さん方の事情の中で、18日帰郷ですので、18日までは当然公務、委員会の公務として統一行動をとってもらいますけれど、何らかの都合で1日遅れるとか、どこかへ寄ってきたいという部分があったときには・・・、ちょっと休憩します。

午後0時46分休憩

午後0時46分再開

○空委員長

再開します。

行程が終了した後に残るとかという、いろいろなほかの部分を見たいということがあって、みんなと統一行動で帰ってこられないという人については今月中に事務局に申し出ていただくと、それで切符の手配等の関係がありますので。あとこれは御案内のとおりでありますけれども、今の規定では途中で離れたとき、個人行動をとったときには帰りの交通費並びに遅れた部分の宿泊費、あともしもろもろかかった経費については自己負担という形になりますので、その辺を踏まえて検討して、事務局のほうに申し入れていただきたいと思いますのでよろしくお願いします。

そのほかに皆さんから聞いておきたいことはありますか。

(「なし」の声あり)

○空委員長

それではこれもちまして生活福祉委員会を終了させていただきます。

御苦労さまでした。

午後0時48分 閉会